

NPO法人
くるみ

「7色そぼろ弁当作り」に自閉症児の親子4組が7月12日、川崎市男女共同参画センターに集まった写真。「支援を必要とする子は社会との接点が少ない、親も生きづらさを感じたり、自分らしく生きられないときもある。そうした子や親同士をつなぐりとホッとできる居場所をつくらうと企画した」と、「NPO法人くるみ」代表の理事長の太田修嗣さん(39)は語る。

市民発

地域をつくる人・活動

自分らしさ失わずに



症の息子を育ててきた。その経験を生かして、自閉症児の家族のために心を少しでも軽くしたいと、2014年、仲間が12人

集い団体を設立。会の名に「明るい未来はどんな人にもきつと来る」という願いを込めた。

イベントでは楽しい雰囲気共有する事を大事にしている。弁当作りでは、言葉で言われただけでは動きづらい子も料理ができるように調理方法を動画にした。全員体験できるよう工夫している。家でも作りたいという子も現れた。食後のお楽しみクイズや発表にも力を入れる。発車メロディーで駅名を当て、喝采を浴びた子、新幹線こだまの駅名を暗唱する子など、自分の子の活躍を見て親も笑顔になる。

理事長はさらに自閉症児の理解を広めたいと、中学校や特別支援学校に出向き、体験を踏まえた研修会を始めている。

(市民記者・高橋 喜宣)

情報は
こちらへ

●川崎総局 ☎044(222)4455
☎044(211)0555

かわさき市民活動センター ☎044(430)5566
<http://www.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp>